

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和 7 年 9 月30日

【中間会計期間】 自 令和 7 年 1 月 1 日 至 令和 7 年 6 月30日

【発行者の名称】 デンマーク地方金融公庫 (KommuneKredit)

【代表者の役職氏名】 最高経営責任者兼マネジング・ディレクター
Jens Lundager

マネジング・ディレクター
Henrik Andersen

【事務連絡者氏名】 弁護士 黒 丸 博 善
弁護士 海 沼 智 也

【住所】 東京都港区六本木六丁目10番 1 号
六本木ヒルズ森タワー23階
T M I 総合法律事務所

【電話番号】 東京(03) 6438-5511

【縦覧に供する場所】 該当なし

第 1 【募集（売出）債券の状況】

売出債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末 の未償還額	当該半期中 の償還額	当該半期末 の未償還額
デンマーク地方金融公庫 2027年7月30日満期 トルコ・リラ建 ディスカウント債券	2012年7月	2,500万 トルコ・リラ	2,500万 トルコ・リラ	0	2,500万 トルコ・リラ

2025年上半期中において、上記債券の所有者の権利等に重要な悪影響を与える事実は発生しなかった。

第2【発行者の概況】

注(1) 「公庫」とは、デンマーク地方金融公庫を意味する。

- (2) 本書中、別段の記載がない限り、「デンマーク・クローネ」または「DKK」と表示される金額はデンマーク王国の通貨であるデンマーク・クローネを意味する。2025年9月19日現在、東京の主要銀行により公表されたデンマーク・クローネに対する日本円の為替相場の中値は1デンマーク・クローネにつき23.38円であった。
- (3) デンマーク地方金融公庫の事業年度およびデンマーク王国の会計年度は暦年である。
- (4) 本書中の表で、計数が四捨五入されている場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。

1【概況】

新しい資金調達モデル

2025年3月現在、公庫の資金はソブリン資金調達金利でデンマーク政府から直接提供されている。このことが既存の債券または公庫の負債構造に影響を与えることはなく、引き続きデンマークの全ての地方自治体および州が連帯して責任を負ってこれを担保する。

新しい資金調達モデルにより、公庫は資本市場での債券発行を停止した。2025年3月26日以降は、デンマーク政府を代理してデンマーク国立銀行が公庫に対して必要資金を提供している。

簡潔に言えば、従来は公庫が国際資本市場で債券を発行して貸付資金を調達していたところ、現在は全ての債券がデンマーク・クローネ建てで発行されその唯一の投資家がデンマーク政府ということである。

新しい資金調達モデルは、既存の公庫の債券の条件や担保設定に変更を加えるものではない。

優先されるべきは、公庫が確実に公庫の既発債券の様式や質を管理し、投資家に債券の実質的変更を強いることなく、公庫の債券を高品質で低リスクな資産として維持することである。

2025年上半期の業績

2025年上半期の特記事項として新しい資金調達モデルへの移行があり、これに沿って公庫の全ての債券は資金調達コストに応じた金利で政府により買い上げられる。

新しい資金調達モデルにより資金調達コストが下がった結果、地方自治体および州への貸付・リース価格を引き下げた。これに伴い公庫は、総流動性資金の減額およびそれに伴う貸借対照表のスリム化を進めている。

収益および自己資本

2025年上半期において純受取利息は総額3億6,800万デンマーク・クローネとなり、前年同期より3,200万デンマーク・クローネ増加した。

クルトルヴェ14番地および16番地に所在する公庫の所有不動産の売却により7,600万デンマーク・クローネの特別利益が発生し、その他の営業利益として処理した。

当期における管理費用は前年同期の9,900万デンマーク・クローネに対して合計で1億100万デンマーク・クローネとなった。

価値調整前および税引前の当期利益は3億3,800万デンマーク・クローネとなり、前年同期と比べて1億800万デンマーク・クローネ増加した。この増加は主に、不動産の売却によるものであった。

2025年上半期の金融商品の価値調整はマイナス5億1,600万デンマーク・クローネとなった。このマイナス調整額には、新しい資金調達モデルを受けて貸付や資金調達の評価の適用金利に政策金利を取り入れるためになされた調整が大きく反映されている。また、価値調整には2021年から2023年にかけて生じた多額のプラス調整の影響が及ぶが、これらは貸付および資金調達の満期までの期間にわたり今後数年間のマイ

ナス調整によって相殺されていくものである。予測されていたとおり、このことは2025年上半期のマイナス価値調整の一因となった。

包括利益は、前年同期の2億1,200万デンマーク・クローネの損失に対し、当期は1億3,900万デンマーク・クローネの損失となり、全額が持分に組み入れられる。クルトルヴェ14番地および16番地に所在する所有不動産の売却に基づき、公庫は持分のうち4,500万デンマーク・クローネの再評価準備金を解消した。これにより持分は100億400万デンマーク・クローネとなり、資産合計に対する持分の比率は4.0%となった。

リスク・エクスポージャー総額（REA）は、2025年上半期末現在において166億デンマーク・クローネとなり、2024年末現在より8億デンマーク・クローネ減少した。この減少は、主に保有有価証券を減らして信用リスクが低下したことが反映されている。この結果、信用機関のソルベンシー要件に基づいて算出された自己資本比率（リスク・エクスポージャー総額に対する自己資本の比率）は、2024年末現在の58%に対して、2025年6月30日現在には59%となった。

貸付およびリース

貸付高（純額）（すなわち、返済額および償還金額を控除した新規の貸付高およびリース）は、2024年上半期には56億デンマーク・クローネであったのに対し、2025年上半期には13億デンマーク・クローネとなった。新規の貸付およびリース契約は過去数年と同水準であったが、既存の貸付は予測されたとおり償還に伴う自然減少が例年よりも多かった。貸付の伸びは主に、地域向け熱供給、上水道および下水のプロジェクトに対する貸付によりもたらされた。

貸付およびリースの合計額は、2025年上半期末現在には1,986億デンマーク・クローネとなり、2024年末現在から45億デンマーク・クローネ増加したが、これは貸付金利の低下に伴うプラスの価値調整の影響で貸付高（純額）が増加したことを反映したものである。

資金調達および投資

投資総額（すなわち、信用機関への債権および証券ポートフォリオの額）は、2025年上半期末現在において合計で392億デンマーク・クローネとなり、2024年末現在と比べて68億デンマーク・クローネ減少した。資金調達累計額（すなわち、信用機関への債務および発行債券の額）は、68億デンマーク・クローネ減少して2,243億デンマーク・クローネとなった。新しい資金調達モデルにより総流動性資金の必要性が低下し、そのため資金調達の必要性も低下した。公庫は当半期末に差しかかる時期に当半期最初の債券を発行し、政府を代理してデンマーク国立銀行がこれを買入れた。

デンマーク政府が公庫の債券を買入れて公庫に資金を提供する新しい資金調達モデルのもと、今後公庫は資本市場において新たな債券を発行しない。資本市場には未償還債券が残存しているが、かかる債券の条件や担保設定が変更されることはない。

当期における資産合計は53億デンマーク・クローネ減少して2,472億デンマーク・クローネとなったが、これは主に新しい資金調達モデルのもとで総流動性資金が減少したことによるもので、貸付の増加による相殺は一部にとどまった。

ESG - 社会に寄与する価値

公庫は、公庫の不変のDNAの一つである社会的責任への注力を維持および拡充することにより、環境・社会・ガバナンス（ESG）への配慮をその業務に取り入れることに意欲的であり、ESGへの取組みを高優先事項としている。

実質的に全ての公庫の貸付・リース契約は、地域向け熱供給、気候適応、公共交通機関、医療設備、公共施設のエネルギー効率向上、ならびに高齢者向け住宅、地域のスポーツ拠点および学校の設営など、環境保護目的および／または社会的目的を帯びている。このように、公庫は地方自治体および州のグリーン・トランジションを国内全域で支援している。

また公庫の経営においては、健全で責任あるコーポレートガバナンスを重視している。公庫は常に高い従業員満足度と豊富な成長機会を特色とした職場づくりを追求している。公庫は二酸化炭素換算排出量の削減を継続し、またESGデータ・プロジェクトを推進してデータの質を確保している。

構成員のサステナビリティ・アンビション

デンマークの地方自治体および州の機関は、デンマークの地域社会の持続可能な移行に向けた野心的目標（アンビション）を掲げている。デンマークの全ての地方および州の機関はパリ協定の目標を達成するための気候行動計画を策定しており、その取り組みは国の気候目標の達成においてきわめて重要な役割を果たしている。

公庫の貸付ポートフォリオの大部分を占める供給部門においても、環境と気候に関する高度な野心的目標が設定されている。水道部門および地域向け熱供給部門は、2030年までにクライメイト・ニュートラル（気候中立）を達成するという目標を共有しており、それゆえ国の気候目標の達成においても重要な役割を担う。

公庫を通じた最小コストでの資金調達アクセスは、デンマークの地域的なサステナビリティ・アンビションを支えている。公庫の貸付・リース商品は多くの民主的意思決定に転換をもたらし、二酸化炭素換算排出量を削減するための投資、および医療や清潔な飲料水へのアクセスを確保しスポーツや文化活動を振興するための投資へと導いている。

2【資本構成】

デンマーク地方金融公庫の資本構成

	2025年 6 月30日現在 (百万デンマーク・クローネ)
発行債券(注1および注2)	224,333
デリバティブの公正価値	11,818
その他の負債、年金および税を除く負債合計	236,151
その他の負債、年金および税合計	1,090
負債合計	237,241
持分	
2025年 1 月 1 日現在の持分	10,188
再評価準備金の解消	-45
税引後当期利益	-139
2025年 6 月30日現在の持分	10,004
資本合計	247,245

注(1) 指数連動債に関して、残高は指数変動による調整を含む。

(2) 外国通貨による借入は、2025年 6 月30日の実勢為替レート、あるいは2025年中の借入に関しては実行日の為替レートにより、デンマーク・クローネに換算されている。

2025年 6 月30日以降、公庫の資本構成に重大な変化はなかった。

3【組織】

下記を除いて、2025年上半期中およびそれ以降において公庫の組織に重大な変更はなかった。

2025年1月1日以降、下記の変更があった。

理事会

2025年1月1日以降、理事会の構成員に変更はなかった。

経営陣チーム

2025年3月26日より（経営陣チームの役職を退任）：

イエッテ・モルドラップ（最高トレジャリー・サステナビリティ責任者、トレジャリー・サステナビリティ部門長）

4【経理の状況】

2025年1月1日から2025年6月30日までの期間の中間財務書類は、公庫の独立監査人であるデロイト公認会計士パートナーシップのHenrik WellejusおよびJens Ringbæk（国家の承認を受けた公認会計士）によりレビューされ、さらに省により任命された監査役であるPer Hansenによりレビューされている。

2025年および2024年6月30日現在または2025年および2024年6月30日に終了した6か月間の公庫の中間財務書類（レビュー済）は、以下のとおりである。

2025年1月1日から6月30日までの期間についての 包括利益計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2025年 上半期	2024年 上半期
受取利息		2,664	3,158
支払利息		-2,296	-2,822
純受取利息		368	336
その他の営業利益		78	2
その他の営業費用		-7	-9
人件費および管理費用		-101	-99
価値調整前当期利益		338	230
金融商品の価値調整		-516	-502
税引前当期損益		-178	-272
当期利益課税額		39	60
当期損益		-139	-212
その他の包括利益			
保険数理上の損益		0	0
保険数理上の損益に対する税額		0	0
当期包括利益		-139	-212
計上先は以下の通り：			
持分への組入		-139	-212
合 計		-139	-212

2025年 6 月30日現在の貸借対照表

資 産

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2025年 6月30日現在	2024年 12月31日現在
信用機関への債権	3	216	2,350
貸付	3	187,619	183,467
リース		10,969	10,644
証券ポートフォリオ	3	38,986	43,618
デリバティブ金融商品	3、4	9,290	12,232
その他の資産		28	114
当期税金資産		137	73
資産合計		247,245	252,498

負債および持分

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2025年 6月30日現在	2024年 12月31日現在
信用機関への債務		0	6
発行債券		224,333	231,169
デリバティブ金融商品	3、4	11,818	9,991
その他の負債		528	572
当期税金負債		0	0
繰延税金負債		562	572
負債合計		237,241	242,310
持 分		10,004	10,188
負債および持分合計		247,245	252,498

2025年 1 月 1 日から 6 月30日までの期間についての持分変動計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

注記	2025年 上半期	2024年 上半期
持分		
1 月 1 日現在の持分	10,180	10,180
再評価準備金		
再評価準備金の解消	-45	0
持分への組入		
当期利益	-139	-212
その他の包括利益		
保険数理上の損益	0	0
その他の包括利益に対する税額	0	0
その他の包括利益（税引後）	0	0
持分への組入合計	-139	-212
6 月30日現在の持分	10,004	9,968

当期包括利益は公庫の定款に従い持分（資本）に組入れられる。

持分は、2024年12月31日現在の101億8,800万デンマーク・クローネから2025年 6 月30日現在には100億400万デンマーク・クローネに減少した。2025年 6 月30日現在、資産に対する持分の割合は4.0%で、2024年12月31日現在から変動はなかった。持分は普通株式等Tier1（CET1）資本からなる。

公庫の改正設立根拠法によれば、持分は負債の1%（23億7,200万デンマーク・クローネに相当する。）以上の額でなければならない。理事会が定めた目標によれば、持分は資産の3%以上の額でなければならず、これが公庫の活動を支えるための適切な自己資本と考えられている。

当期の期首および期末現在の持分には、200万デンマーク・クローネの再評価準備金が含まれている。

2025年1月1日から6月30日までの期間についての キャッシュフロー計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2025年 上半期	2024年 上半期
税引前当期損益		-178	-272
減価償却費、償却費および減損費用		0	0
その他の調整		-76	-
支払法人税		-45	-70
合計		-299	-342
純受取利息		-368	-336
受取金融収益		2,664	3,158
支払金融費用		-2,296	-2,822
貸付の変動		-4,477	-3,609
証券ポートフォリオの変動		4,631	-1,486
発行債券の変動		-6,836	7,892
デリバティブ金融負債の変動		1,827	483
デリバティブ金融資産の変動		2,942	-1,485
その他の資産の変動		6	22
その他の負債の変動		-33	-123
営業活動からのキャッシュフロー		-2,239	1,352
その他の資産の売却		111	0
その他の資産の購入		0	0
投資活動からのキャッシュフロー		111	0
財務活動からのキャッシュフロー		-	-
現金・現金同等物残高の変動		-2,128	1,352
1月1日現在の現金・現金同等物残高		2,344	272
6月30日現在の現金・現金同等物残高		216	1,624
詳細は以下のとおり：			
信用機関への預け金		216	1,624
信用機関への短期債務		0	0
6月30日現在の現金・現金同等物残高		216	1,624

注 記

注記１ 会計方針

一 般

本中間報告書の対象期間は、2025年１月１日から同年６月30日までである。

中間報告書は、欧州連合（EU）が採用している国際会計基準（IAS）第34号「中間財務報告」および追加的な中間報告開示要件に従い表示されている。

別途記載されていない限り、中間報告書の金額は全て百万デンマーク・クローネ単位で記載されている。記載されている合計額は、四捨五入前の実際の金額に基づき計算されたものである。金額は百万デンマーク・クローネ単位に四捨五入されているため、個別の金額の合算額と合計表示額とで多少の差額が生じる場合がある。

会計方針は、2024年度の年次報告書で適用されている方針から変更されていない。会計方針の全容は年次報告書を参照のこと。

会計方針の変更点

2025年事業年度以降に発効し2025年度の財務報告に影響を与えると考えられる新規のまたは改正された国際財務報告基準（IFRS）および解釈指針はない。

重要な会計上の見積り、仮定および判断

中間財務書類の作成において、経営陣は多くの会計上の見積りおよび判断を行う。この見積りおよび判断は、経営陣が合理的かつ現実的であるとみなした仮定に基づき会計方針に従ってなされるが、これらは本質的に不確定で予測不能である。会計上の見積りおよび判断は、過去の実績および将来の状況の評価が確実に反映されるよう、継続的なプロセスによりテストおよび評価される。

公正価値の算出が市場で直接観測できないインプットに基づく場合、および反対の影響が示されない場合、会計上の見積りおよび判断は財務書類に非常に重要な影響を有するとみなされる。

特に、債券サーキットを構成しない発行債券の評価に関する見積りおよび判断は、財務書類に影響を与える可能性がある。これらの債券には活発な市場が存在しないため、その評価には重要な会計上の見積りが用いられる。

一部のデリバティブの評価に用いる見積りおよび判断もまた、市場で直接観測可能な価格が存在しないことから、財務書類に影響を与える可能性がある。一般に認められているキャッシュフローモデルの観測可能なインプットで代用されている。

債券サーキットを構成しないローンの評価において、観測可能な市場が存在せず、それゆえ公庫は独自のさしあたりの貸付価格を市場価格として適用している。

その他の全ての金融商品について、その評価に重要な見積りは含まれていない。これらの商品には、活発な市場における相場価格が存在するか、または適用される見積りに重要な会計上の影響がないためである。

2024年度の年次報告書の情報と比較して、適用された会計上の見積りに変更点はなかった。金融商品の公正価値に関する会計上の見積りの作成に関する方法および原則ならびに見積りの全容は、2024年度の年次報告書に記載されている。

注記２ 貸借対照表日後の事象

貸借対照表日後に生じた重要な事象はない。

注記3 金融商品の公正価値の詳細

IFRS第13号「公正価値測定」に従い、公正価値で測定される金融商品は、その公正価値が決定される方法および基準とするデータによって、公正価値についてのレベル1から3の階層に分類されなければならない。公正価値は、金融資産または金融負債が必要な知識を持つ自発的な取引相手との間で取引される価額である。

公正価値は、以下の階層に従い測定される。

レベル1：

同一の資産または負債についての活発な市場における相場価格。

レベル2：

類似の資産もしくは負債についての活発な市場における相場価格に基づくか、または観測可能なインプットにより実質的に基礎付けられるその他の評価手法に基づく、観測可能なインプット。

レベル3：

評価が観測可能なインプットによっては実質的に基礎付けられていない、観測不能なインプット。

レベル2およびレベル3の公正価値は、一般に認められているモデルに基づき評価される。公庫は、A)流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の証券の相場価格、ならびにB)全ての見積みキャッシュフローおよび固定キャッシュフローをゼロクーポン・イールド・カーブ、イールド・カーブおよびオプション・モデルを用いて割引引く割引キャッシュフローモデルの双方を用いている。

A) 公庫は、債券サーキットと称される発行債券および貸付の一部につき、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の証券の相場価格を用いている。債券サーキットはモーゲージ信用残高の原則に基づいていることで特徴づけられ、公庫が発行した債券の条件が債券発行により調達された資金による顧客への貸付に直接転嫁され、公庫の所定の貸付マージンが上乗せされる。

債券サーキットにおける証券はナスダック（コペンハーゲン）で発行されているが、債券はその取引頻度および取引量が不十分であるため非流動的である。したがって、相場価格は使用できず、その代わりに、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の証券の相場価格が用いられる。類似の証券の例には、類似の特性を有するモーゲージ債または政府債がある。顧客への貸付に対する信用リスクは、発行債券に対応しているため、発行債券の価格は債券発行により調達された資金による貸付にも用いられている。よって、価格変動は損益に影響を与えない。

B) 公庫は、デリバティブ、非流動的とみなされる発行債券の上記以外の部分、および公正価値で評価されるが債券サーキットを構成しない貸付につき、割引キャッシュフロー法を用いている。

レベル2の公正価値の算出には、スワップレート、為替ベースス・スワップ・スプレッド、テナー・スプレッドおよび為替レート等の観測可能なインプットが含まれている。また、発行債券の評価は公庫の現在の資金調達コストについての見積りを含む。貸付の評価には、公庫の現在の貸付価格が含まれる。公庫は、見積もられた現在の資金調達コストに応じて現在の貸付価格を定期的に調整することにより、貸付マージンを適正な一定水準に保つよう努めている。現在の資金調達コストの見積りに関する感応度は、現在の貸付価格の変動により一部相殺されることになる。これによると、価値調整による正味の総影響額は最大でプラス/マイナス2億5,000万デンマーク・クローネの範囲内と考えられる。

公庫のごく一部の発行債券およびデリバティブは、公正価値レベル3に分類されている。当該レベルは、発行済仕組債および関連するヘッジ・デリバティブに用いられており、そのインプットは、公正価値レベル2に適用されるインプットに加えて、通貨、株式およびコモディティのボラティリティならびにそれらの相関といった観測不能なインプットから成る。発行済仕組債はデリバティブによりマイクロ・ヘッジされており、よって観測不能なインプットの変動は、発行における変動がデリバティブと逆に作用するため、損益に重要な影響を及ぼすことはない。

公庫は、金融商品を利用することにより市場リスクを軽減するリスク管理戦略を追求している。この結果、レベル2およびレベル3に基づく公正価値を算出するのに用いられる見積りおよび仮定の変更による包括利益および持分への影響（正味ベースでみた総額による）は縮減されており、資金調達コストおよび貸付価格の変動を含むにとどまる。

2025年上半期におけるレベル間の組替えはなかった。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

金融商品の公正価値の詳細

2025年6月30日現在

資 産

	レベル1	レベル2	レベル3	合 計
信用機関への債権	216	0	0	216
貸付	0	189,619	0	187,619
証券ポートフォリオ	38,986	0	0	38,986
デリバティブ	0	9,015	275	9,290
資産合計	39,202	196,634	275	236,111

負 債

信用機関への債務	0	0	0	0
発行債券	0	221,353	2,980	224,333
デリバティブ	0	11,537	281	11,818
負債合計	0	232,890	3,261	236,151

2024年12月31日現在

資 産

信用機関への債権	2,350	0	0	2,350
貸付	0	183,467	0	183,467
証券ポートフォリオ	41,482	2,136	0	43,618
デリバティブ	0	11,981	251	12,232
資産合計	43,832	197,584	251	241,667

負 債

信用機関への債務	6	0	0	6
発行債券	0	228,147	3,022	231,169
デリバティブ	0	9,605	386	9,991
負債合計	6	237,752	3,408	241,166

(単位：百万デンマーク・クローネ)

レベル3の公正価値の詳細

2025年6月30日現在

資 産

	1月1日現在の残高	新 規	処 分	当期利益における認識額	6月30日現在
信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	251	0	0	24	275
資産合計	251	0	0	24	275

負 債

信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	3,022	0	0	-42	2,980
デリバティブ	386	0	0	-105	281
負債合計	3,408	0	0	-147	3,261

2024年12月31日現在

資 産

	1月1日現在の残高	新 規	処 分	当期利益における認識額	12月31日現在
信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	261	0	0	-10	251
資産合計	261	0	0	-10	251

負 債

信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	3,349	0	-283	-44	3,022
デリバティブ	245	0	-25	166	386
負債合計	3,594	0	-308	122	3,408

注記4 金融商品の公正価値の詳細

公庫は、マスター・ネットティング契約（ISDAマスター契約）にクロス取引の支払いのネットティングについての合意が含まれる場合に、外国為替取引およびデリバティブを差金ベースで決済している。差金決済の場合は必然的に貸借対照表においてデリバティブの会計上の価額には相殺を含めることになる。相殺総額は、2024年12月31日現在で72億4,600万デンマーク・クローネであったのに対し、2025年6月30日現在では72億5,200万デンマーク・クローネとなった。

ISDAマスター契約にクロス取引の支払いのネットティングが含まれない場合、会計上の価額は相殺を含まない。相殺されていないデリバティブのネットティング金額は、取引相手ごとに算出される資産および負債のうち少額である方を上限とする。かかる金額は資産および負債の双方に計上される。

ISDAマスター契約には、デリバティブに関連する片務的または双務的担保契約が含まれる。これらの契約に基づく受入担保および差入担保は、高格付の債券のみからなる。担保価額は取引相手ごとに算出され、債券が担保として提供される金融商品の純額を上限とする。担保契約は、通常取引のためではなく専ら倒産の場合に備えて担保の相殺を認める。担保価値に対して相殺は適用されない。

公庫は、貸付、リースまたは発行債券に関して、ネットティング契約の締結および担保の差入れまたは受入れを行っていない。このためこれらの金融商品は以下の表に含まれていない。帳簿価額は貸借対照表から引用している。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

貸借対照表において表示されたデリバティブ

	財政状態計算書上 相殺された金額			財政状態計算書上 相殺されていない金額		
	帳簿価額 総額	相殺額	帳簿価額	金融商品	担 保	純 額
2025年 6 月30日現在						
資 産	16,542	-7,252	9,290	-2,631	-6,014	645
負 債	19,070	-7,252	11,818	-2,631	-8,517	670
純 額	-2,528	0	-2,528	0	2,503	-25
2024年12月31日現在						
資 産	19,478	-7,246	12,232	-2,874	-8,442	916
負 債	17,237	-7,246	9,991	-2,874	-6,906	211
純 額	2,241	0	2,241	0	-1,536	705

注記5 主要な指標および財務比率

(単位:百万ユーロ/百万デンマーク・クローネ)

	2025年 上半期	2025年 上半期	2024年 上半期	2023年 上半期	2022年 上半期	2021年 上半期	2024年
	ユーロ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ
当期の主要な指標							
純受取利息および手数料	59	439	329	187	185	176	717
金融商品の価値調整	-69	-516	-502	153	535	190	-510
人件費および管理費用	-14	-101	-99	-100	-119	-68	-194
貸付および債券等の減損	0	0	0	0	0	0	0
当期損益	-19	-139	-212	187	468	233	8
貸付およびリース	26,619	198,588	190,748	181,070	179,513	191,156	194,110
持分	1,341	10,004	9,968	9,953	9,243	8,630	10,188
資産	33,140	247,245	250,617	240,280	245,327	234,368	252,498
発行債券	30,069	224,333	226,063	211,642	221,784	216,443	231,169
証券ポートフォリオ	5,226	38,986	45,125	46,279	50,530	36,745	43,618
有形固定資産への投資	-	-	-	3	0	0	2
当期における活動							
貸付およびリース (額面価額の純増加額) (純貸付)	176	1,315	5,616	4,296	3,367	3,782	6,219
貸付およびリース (額面価額の総増加額)	2,856	21,304	20,439	16,508	16,912	19,874	34,413
発行債券 (額面価額の総増加額)	2,431	18,137	28,594	24,801	33,319	35,229	43,407

(単位：百万ユーロ / 百万デンマーク・クローネ)

	2025年 上半期	2025年 上半期	2024年 上半期	2023年 上半期	2022年 上半期	2021年 上半期	2024年
	ユーロ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ
資本構成							
自己資本 / 最低資本要件	7.3	7.3	6.9	8.1	7.0	8.7	7.2
ソルベンシー比率 (%)	59	59	55	65	56	70	58
Tier1 (CET1) 資本比率 (%)	60	60	56	65	57	71	59
資本利益率 (税引前) (税引前利益 / 持分) (%)	-1.8	-1.8	-2.7	2.4	6.7	3.5	0.1
資本利益率 (税引後) (税引後利益 / 持分) (%)	-1.4	-1.4	-2.1	1.9	5.2	2.7	0.1
収益 / 費用比率	-0.8	-0.8	-1.7	1.9	6.1	5.4	1.1
リスク・エクスポ ージャー総額 (REA)	2,231	16,641	17,861	15,176	16,267	12,202	17,391
普通株式等Tier1 (CET1) 資本	1,341	10,004	9,968	9,953	9,243	8,630	10,188
自己資本	1,305	9,735	9,880	9,873	9,136	8,530	10,066
金利リスク	26	197	66	309	239	244	55
為替ポジション	28	211	1,037	873	394	375	556
預貸率 (%)	88.5	88.5	84.4	85.6	80.9	88.3	84.0
貸出資本比率 (%)	19.9	19.9	19.1	18.2	19.4	22.2	19.1
当期減損率 (%)	0	0	0	0	0	0	0
総資産利益率 (当期利 益 / 資産合計) (%)	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	0.2	0.1	0.0
資産合計に対する持分の 比率 (税引後) (%)	4.0	4.0	4.0	4.1	3.5	3.6	4.0
費用 / 資産比率 (%)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.03	0.08
純受取利息 / 資産比率 (%)	0.15	0.15	0.13	0.08	0.08	0.08	0.29
正規従業員数	101	101	104	102	94	87	106

公庫の設立根拠法の改正法の施行およびデンマーク金融監督庁との協議を受け、新たに主要な指標および財務比率を追加した。比較数値は修正再表示されている。

主要な指標および財務比率は、公庫に適用される会計基準の規定に従い算出されている。

2025年 6 月30日現在の為替レート：100ユーロ = 746.0514デンマーク・クローネ。

第 3 【外国為替相場の推移】

(1) 【当該半期中における月別為替相場の推移】

該当事項なし

(2) 【最近日の為替相場】

該当事項なし